

## JA全農育成の水稻良食味品種「はるみ」について

### 1. 「はるみ」の概要

#### (1) 育成経過

- ア. 平成 7 年：コシヒカリとキヌヒカリを両親として交配
- イ. 平成 21 年：品種登録出願
- ウ. 平成 26 年：品種登録

図表 1. 来歴

時 期	内 容
平成 7 年	JA 全農 営農・技術センターにて「コシカ」 と「キヌカ」 の人工交配を実施
平成 10 年	F1 世代を養成
平成 11 年	F2 世代で無選抜栽培
平成 12 年	F3 世代で個体選抜
平成 13 年	F4 世代で単独系統選抜、以後系統育種法にて選抜・固定
平成 15 年	F5 世代に「セー197」 の系統番号を付す
平成 17 年	F8 世代に「湘南 6 号」 の系統名を付す

#### (2) 主な特性

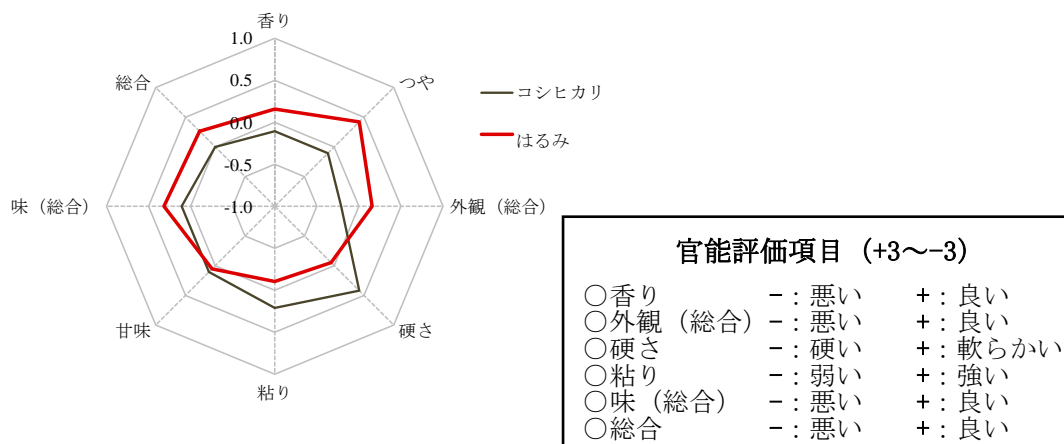
- ア. 食味はキヌヒカリより優れ、コシヒカリ並みの良食味米
- イ. 倒伏に強く、収量はキヌヒカリと比較して同等からやや多い
- ウ. キヌヒカリより整粒が多く、心白・乳白粒が少ない
- エ. キヌヒカリと比べ穂発芽しにくい

図表 2. 生育・収量成績

品種 系統名	出穂 月.日	成熟 月.日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m <sup>2</sup>	精玄米重 kg/a	比較比率 %	千粒重 g	倒 伏
はるみ	8.09	9.17	80	18.3	365	58.7	116	21.5	0.7
キヌカ	8.09	9.17	84	17.4	326	56.6	112	21.3	0.0
コシカ	8.09	9.17	92	19.1	352	50.7	(100)	20.4	3.0

(平成 16～18 年、JA 全農 営農・技術センターにおける栽培成績の平均)

図表 3. 食味官能検査成績



(J A全農 営農・技術センターにおける官能試験の結果)

## 2. 奨励品種に至ったこれまでの経過

(1) 神奈川県の水稲奨励品種決定調査：平成 20 年～平成 26 年

神奈川県の水稲奨励品種「キヌヒカリ」に比べて、生産性、食味等が優れているため、平成 20 年から神奈川県農業技術センターが奨励品種決定調査を実施。

(2) 神奈川県下 J A における試作：平成 22 年～平成 26 年

J A全農 営農・技術センターが神奈川県本部と連携して、平成 22 年から県下 J Aで試作を開始。J A直売所での精米販売や、加工品販売（「はるみ」の焼酎）など、J A毎の取り組みが拡大。

(3) 神奈川県水稲奨励品種に決定：平成 27 年 2 月

平成 27 年 2 月 5 日に開催された神奈川県主要農産物奨励品種決定審議会の審査により、神奈川県水稲奨励品種に決定。神奈川県的主力品種である「キヌヒカリ」の後継品種として普及がすすめられる。

図表 4. 平成 26 年度 神奈川県品種別栽培面積

品種	作付面積(推計※)ha
キヌヒカリ	2,200
コシヒカリ	200
さとじまん	460
奨励品種以外	280
県計	3,140

※農業共済引受面積から推計



写真 1. 「はるみ」栽培風景



写真 2. 左から「はるみ」「キヌヒカリ」「コシヒカリ」の稈長の比較



写真 3. 「キヌヒカリ」(左)、「はるみ」(右)の玄米の比較



写真 4. 「はるみ」の玄米